

日本ホリスティックナーシング研究会主催シンポジウム

body (体) mind (心) spirit (魂) 全人的看護をめざして

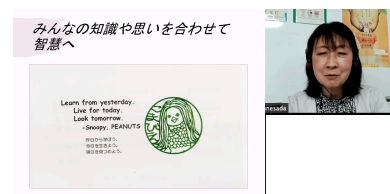
## 感染症の時代とホリスティックナーシング

令和2年9月27日(日)、新型コロナウイルス感染症の感染対策の観点から、オンラインによるシンポジウムが開催されました。今年度は、ホリスティックナース養成コース第2期生の修了生をお祝いすることを楽しみにしていたのですが、感染症の流行のために研修を中止せざるを得なくなりました。それでもこのシンポジウムを開催することができ、4名のシンポジストによる講演と、活発な意見交換が行われました。

日常生活に様々な不自由を強いられている中で、先生方のご講演に励まされ、明日への活力にすることができました。以下、簡単にご紹介いたします。詳細は、[日本ホリスティックナーシング研究会誌](#)をご覧ください。

### 宗定 水奈子 先生 (がん・感染症センター都立駒込病院、CNS) 「臨床現場からの声」

COVID-19の対応のために様々な変更を余儀なくされる臨床現場の中で、ホリスティックな視点からのアプローチの実際をご紹介いただき、多くの実践的な示唆を得ることができました。



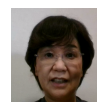
### 本江 朝美 先生 (横浜創英大学大学院看護学研究科) 「今、ここに、健康生成的に生きる」

内面の世界を大切に、外的なストレスフルな世界との境界を柔軟に変えられることが大切。気は思いについてくる。エネルギーは意識によって運ばれるので、ポジティブな感情によって良い気を全身に巡らせ、自らも他者も健康を生成していくことが大切である。とご講演いただきました。

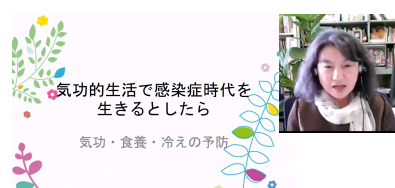
#### コロナの時代 今、ここに、健康生成的に生きる

##### 生活世界の境界を柔軟に

日常生活の中に...  
今、ここに意識をむけ(瞑想)、現実があるがまに受け入れ、  
囚われている感情や思い込みから、我を解き放つ“セルフケア”を



©2020 Asahi Design

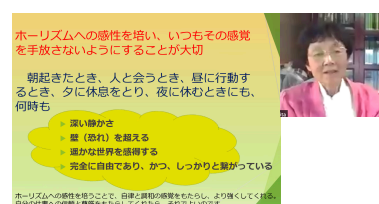


### 定方 美恵子 先生 (新潟大学大学院保健学研究科) 「気功的生活で感染症の時代を生きる」

ワクチンの開発を待つだけでなく、自らの免疫力をアップさせるために気功養生生活をおくることが大切であると語られ、生活の中に取り入れられる気功法もご紹介いただきました。

### 小板橋 喜久代 先生 (元京都橘大学看護学部) 「今あらためて、ホーリズムへの感性を培う」

今、改めてホーリズムの原点に戻り、ホーリズムの感性を養い、人々の過剰な恐れに寄り添いつつ、落ち着いて前を向いて生き抜く姿勢をもつことが大切であることをご講演いただきました。



NEWS LETTER-The Japanese Holistic Nursing Association, Vol.20, 2020.

日本ホリスティックナーシング研究会ニュースレター第20号

発行：日本ホリスティックナーシング研究会事務局 2021年4月発行

本部：日本赤十字看護大学守田研究室内 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3

TEL: 03-3409-0722 MAIL: [info@jhna.jp](mailto:info@jhna.jp) URL: <http://www.jhna.jp>

ニュースレターに関するご意見ご感想は、中島 [k-nakasima@bukkyo-u.ac.jp](mailto:k-nakasima@bukkyo-u.ac.jp) までお寄せください。